

令和7年度 さいたま市立与野南中学校 学校だより



みなみかぜ

南風

第 7 号

令和7年 10月 31日発行

<http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp>

＜学校教育目標＞ 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

ホールいっぱいに響き渡ったBlue Birdの音色♪

校長 正田 真由美

10月28日に初の会場である戸田市文化会館で合唱コンクールが行われました。今年度の会場は、1年前の10月の抽選会で文化センター、埼玉会館、RaiBoC Hall（市民会館おおみや）の抽選に外れてしまい、1度は学校の体育館で開催することになっていました。3年生が2年間音楽ホールで歌ってきたので、やはりホールで歌いたいという意見があり、どうにか久喜総合文化会館の予約が取れ、実施することに決まっていました。その後、もう少し学校から近い会場を探し、7ヶ月前予約の戸田市文化会館が3月に予約を取ることができ、今回の合唱コンクールへと繋がっています。

今年度も戸田市文化会館のホールのステージに13クラス、それぞれの音色が響きわたりました。特に3年生は、体育祭に続き自分たちの持っている力を発揮し、後輩に背中であげてくださいました。

7月から合唱コンクールに向けて与野南中学校は動き出しました。曲決め、指揮者、伴奏者決め、放課後練習、リハーサル等、各クラスに合唱の波が押し寄せていました。2学期が始まると、音楽の授業、放課後の合唱練習、学校の中で歌声が響き渡っていない日はありませんでした。合唱コンクール当日を迎えるまで、実行委員を中心に本当によく頑張っていたと思います。

今回の合唱コンクールのスローガンは、『天歌夢奏 ～We can do it～』でした。1年生は、初めてのステージ発表でしたが、大きな声で各クラスがそれぞれのパートを表現しようとしているのが伝わってきました。2年生は、インフルエンザや体調不良等で指揮者、伴奏者、パートの人数が減ってしまうというハプニングもありましたが、本番のステージ発表ではリハーサルよりも大きな声で、どのクラスも頑張っていました。3年生は、3回目の合唱コンクールで、それぞれのパートが他のパートの音とちゃんと係わり、声を出し惜しみせず、曲に込められた想いや曲の雰囲気を感じている人に伝えられるように歌っていました。本番は、きれいな合唱の音色を4クラスとも響かせてくれました。小学校の音楽専科の審査委員の先生方からは、「さすが3年生になると、男子パートは曲を支える歌声になっていますね。」「3年生は、声が響いていて、とても良かったです。学年合唱の青い鳥、素晴らしいかったです。」「小学生と違って声に表現力があり、さすが中学生ですね。」と褒めていただきました。3年生の学年合唱の時間は、さまざまな青色の鳥がホールいっぱいに羽ばたき、青い空で染まっているように感じました。きっと3年生のきれいな音色が響きわたり、1、2年生、保護者の方々にとってもよい時間が共有できたと思います。

3年生が、真剣に頑張っている姿は本当にステキです。今年も、きっと後輩たちの心の中にある与野南中のアルバムの1ページに、「合唱コンクール」というステキなページが追加され、私たち教職員の心のアルバムにも、1ページが追加されました。ありがとう、3年生！ いよいよ、本格化する自分の進路決定に向けて自分と向き合い、頑張ってもらいたいと思っています。

また、新人体育大会で活躍してくれた2年生は、行事が1つ終わるごとに3年生からバトンを引き継ぎ、今後さらに最高学年に向かってどんな風に成長していくのが楽しみです。